

第 AMA0005 号 明細書 鉄筋挿入工 D22

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
鉄筋挿入工 (材料費無し) J01=II 削孔に要する重機の搬入困難, J03=100m 未満	16	m			
鉄筋挿入工の仮設足場工 (現場条件II)	61	空m3			
削孔機械の上下移動 (現場条件II)	3	回			
グラウト注入 (材料費)	0.1	m3			第SA0002号特殊代価表
鉄筋挿入工材料 D22	1	式			第SA0005号特殊代価表
合 計					

第 AMA0006 号 明細書 基礎工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
コマ型ブロック基礎 φ500単独タイプ 筏マット含む	108	個			材料費のみ
筏ユニオン (接続鉄筋) SD345 D13	109	k g			
コンクリート J01=無筋・鉄筋構造物, J02=人力打設, J03=18-8- 40(高炉), J05=一般養生, J07=無し, J13=小型車 割増あり, J14=全て計上	6	m3			基礎コンクリート
コンクリート型枠 J01=一般型枠, J02=鉄筋・無筋構造物	5	m2			基礎コンクリート
基礎砕石 J01=22.5cmを超え27.5cm以下, J02=再生クラッシュ 40~0, J04=全て計上	5.4	m2			
合 計	数量誤り				

第 AMA0005号 明細書 鉄筋挿入工 D22

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
鉄筋挿入工 (材料費無し) J01=II 削孔に要する重機の搬入困難, J03=100m 未満	16	m			
鉄筋挿入工の仮設足場工 (現場条件II)	61	空m3			
削孔機械の上下移動 (現場条件II)	3	回			
グラウト注入 (材料費)	0.1	m3			第SA0002号特殊代価表
鉄筋挿入工材料 D22	1	式			第SA0005号特殊代価表
合 計					

第 AMA0006号 明細書 基礎工

1 式

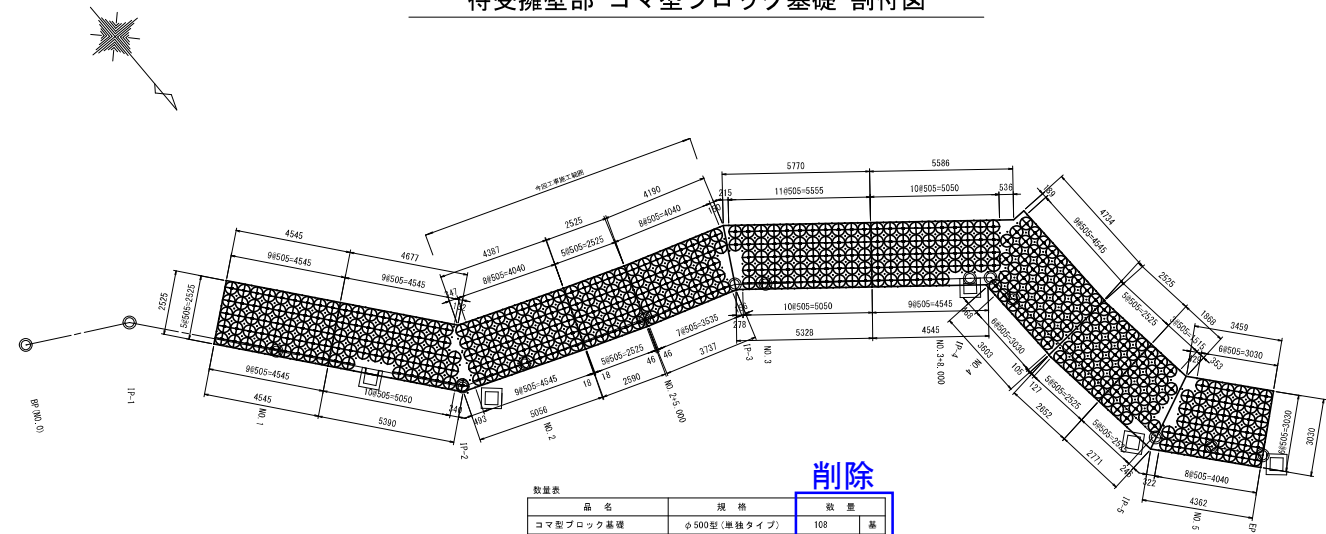
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
コマ型基礎 m2当り単価に修正 (SA0011号特殊代価表追加)	27	m2			第SA0011号特殊代価表
コンクリート J01=無筋・鉄筋構造物, J02=人力打設, J03=18-8- 40(高炉), J05=一般養生, J07=無し, J13=小型車 割増あり, J14=全て計上	6	m3			基礎コンクリート
コンクリート型枠 J01=一般型枠, J02=鉄筋・無筋構造物	5	m2			基礎コンクリート
合 計					

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	0.4	人			
特殊作業員	0.8	人			
普通作業員	1.6	人			
コマ型ブロック基礎 φ500単独タイプ 筏マット含む	40	個			
鉄筋工(鉄筋材料費含む)(kg用) J01=異形棒鋼 SD345, J02=D13, J04=一般構造物, J05=施工規模 10t未満, J06=トンネル内以外(補 正無), J08=法面作業 無(補正無), J09=10%未満 (補正無), J10=補正無(一般構造物)	39.8	k g			筏エオン(接続鉄筋) SD 345 D13
基礎碎石 J01=22.5cmを超え27.5cm以下, J02=再生クラッシュ 40~0, J04=全て計上	5.84	m2			
諸雑費	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2

待受擁壁部 コマ型ブロック基礎 割付図

平面図  
S=1:100

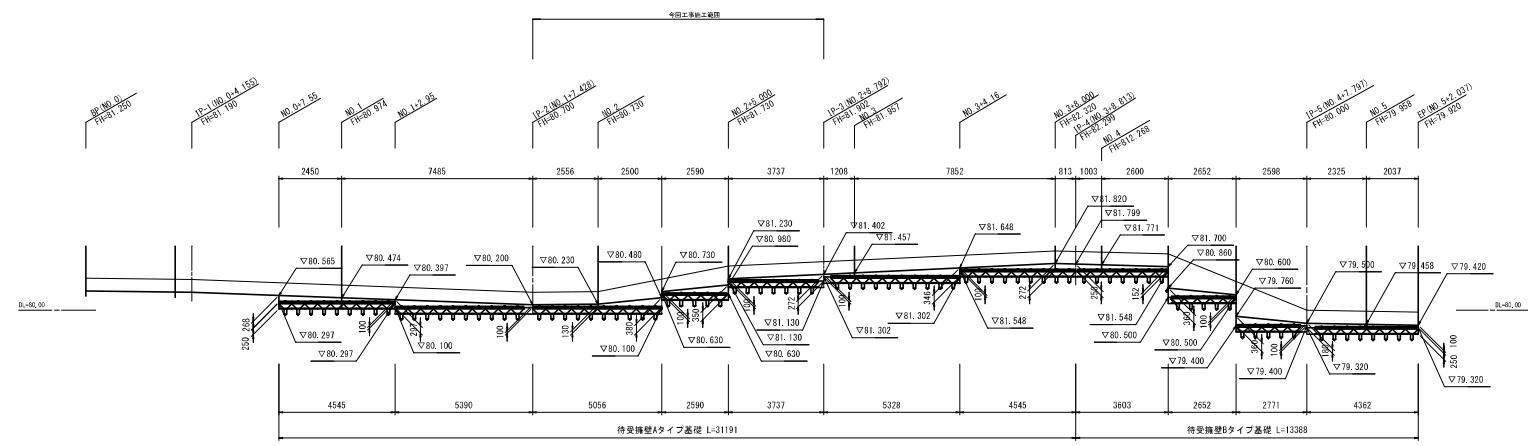


削除

数量表	品名	規格	数量
	コマ型ブロック基礎	φ500型(単独タイプ)	108 個
	基礎コンクリート	18Wmm2	6.40 m3
	基礎コンクリート型枠		5.00 m2
	間詰め砕石	C=40相当	5.40 m3
	強マット	D13 (加工品)	108 個
	鉄ユニオン	D13	108.54 kg

- 特記事項
- 基礎地盤の条件が計算書の条件と異なる場合は再検討を要することとする。
  - 据付け1製品当り、施工時の単位を10mm間込む。
  - 間詰め砕石は、切り込砕石C=40(A) A 500)に相当するものを使用する事とする。  
(ただし、ダスト分の分、固粒径が過半の材料や粒度分布の異なるものは除く。)
  - コマ型ブロック基礎の勾配は5%以内なので基礎コンクリートで高さ調整を行う事とする。

展開図  
S=1:100

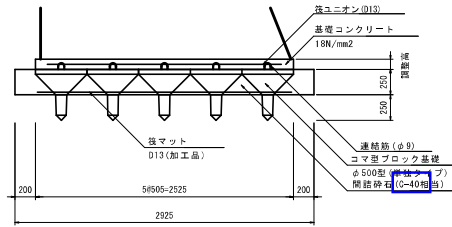


図説 E コマ型ブロック基礎

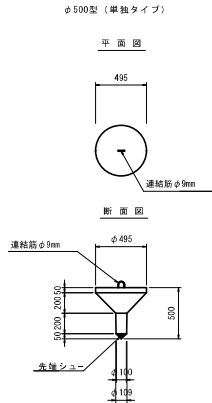
桐原194地区急傾斜地崩壊対策工事(5-3)

図名	コマ型ブロック基礎割付図		
図番	12 第中 7	縮尺	1/100
作成	桐原 雄次郎	検査	桐原 雄次郎
			R 6.1
広島市安佐北区役所森林建設部地域整備課			

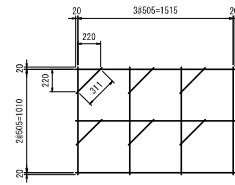
待受擁壁Aタイプ 基礎 標準断面図  
S = 1 : 25



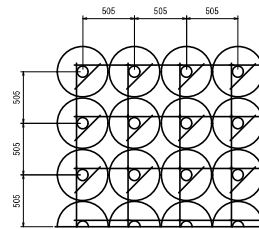
コマ型ブロック基礎 製品寸法図  
S = 1 : 25



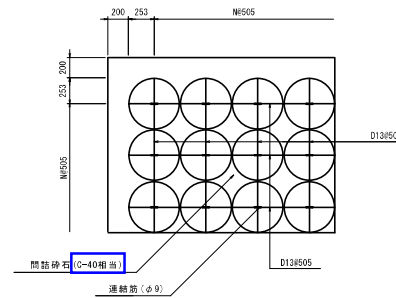
筏マット鉄筋加工図  
S = 1 : 25



筏マット設置図  
S = 1 : 25



鉄ユニオン詳細図  
S = 1 : 25

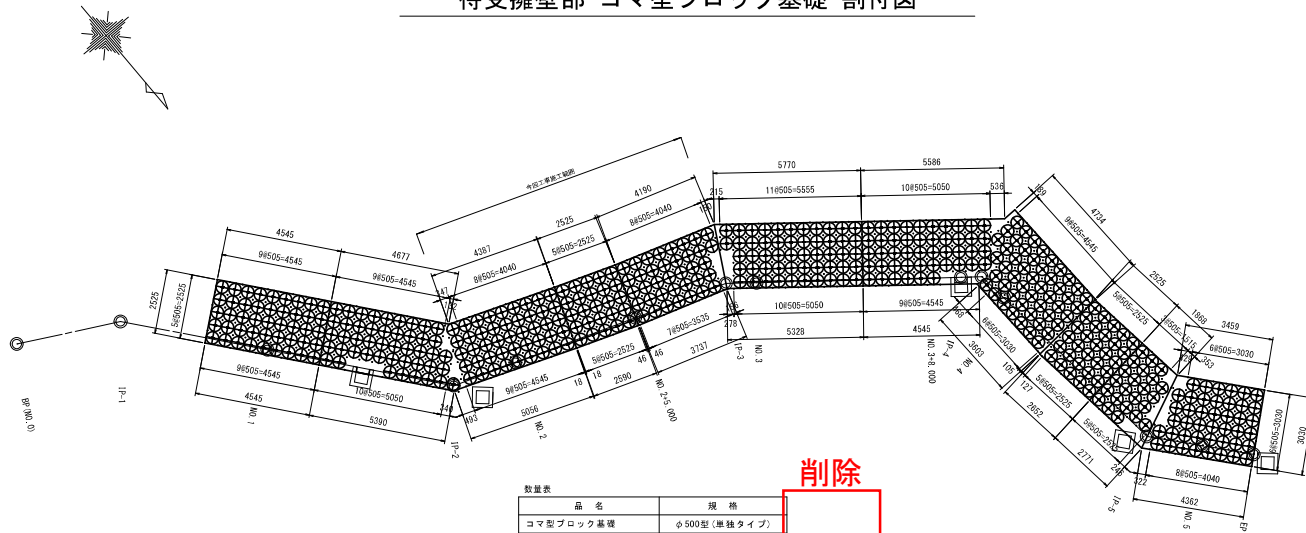


図録エ コマ型ブロック基礎

利原194地区急傾斜地崩壊対策工事 (5-3)			
図名	コマ型ブロック基礎構造図		
図番	12 葉中 8	縮尺	図示
作成	検査	設計	確認
			R 6. 1
広島市安佐北区役所森林建設部地域整備課			

待受擁壁部 コマ型ブロック基礎 割付図

平面図  
S=1:100

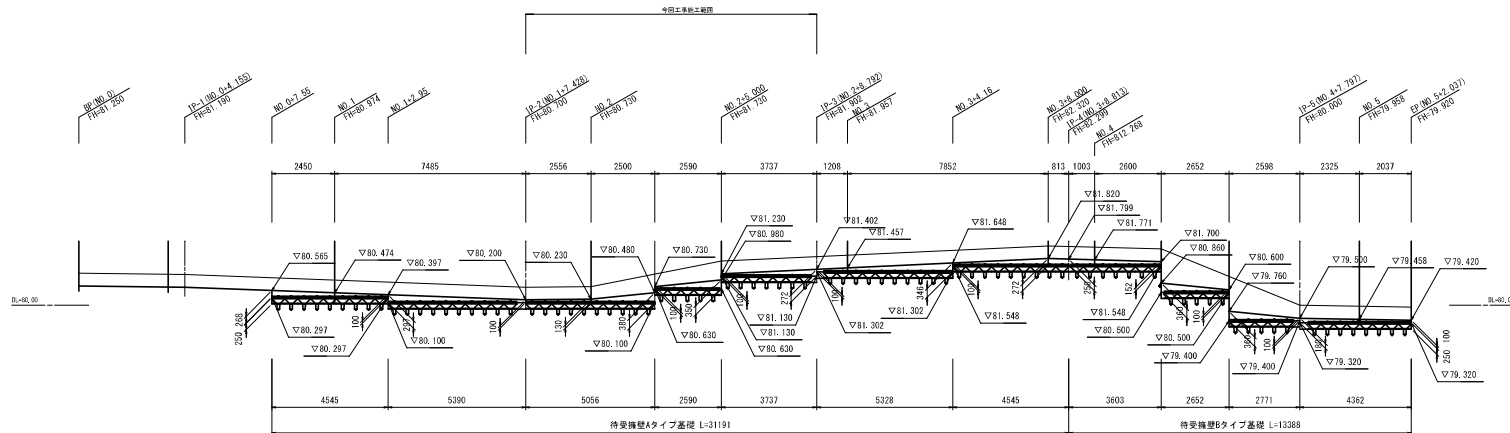


削除

数量表	品名	規格
	コマ型ブロック基礎	φ500型(単独タイプ)
	基礎コンクリート	18Wmm2
	基礎コンクリート型枠	
	間詰砕石	RC-40相当
	強マット	D13 (加工品)
	鉄ユニオン	φ13

- 特記事項
- 基礎地盤の条件が計算書の条件と異なる場合は再検討を要することとする。
  - 据付け1製品当り、施工時の埋込み10mm間込む。
  - 間詰砕石は、切り込砕石RC-40(S A 5001)に相当するものを使用する事とする。  
(ただし、ダスト分や水分、粒径分が過剰の材料や粒度分布の悪いものは除く。)
  - コマ型ブロック基礎の勾配は5%以内なので基礎コンクリートで高さ調整を行う事とする。

展開図  
S=1:100



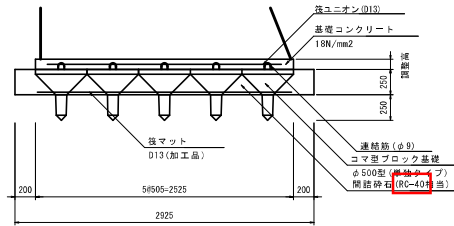
図名 コマ型ブロック基礎

桐原194地区急傾斜地崩壊対策工事(5-3)

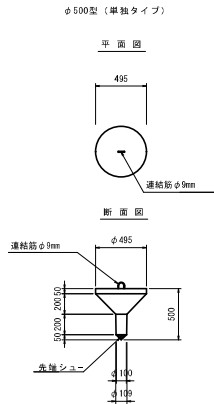
図名	コマ型ブロック基礎割付図		
図番	12 第中 7	縮尺	1/100
作成	桐原 拓也	校核	桐原 拓也
作成日	R 6 . 1		

広島市安佐北区役所 森林建設部 地域整備課

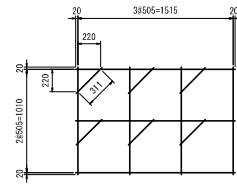
待受擁壁Aタイプ 基礎 標準断面図  
S = 1 : 25



コマ型ブロック基礎 製品寸法図  
S = 1 : 25

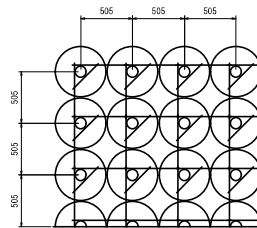


鉄マット鉄筋加工図  
S = 1 : 25



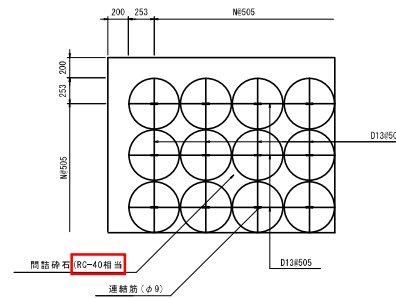
※ 鉄ユニオンを6個組み合わせた場合の参考例を記入

鉄マット設置図  
S = 1 : 25



・鉄マットは現場状況に応じて組み合わせたメッシュ筋となります。

鉄ユニオン詳細図  
S = 1 : 25



図解工 コマ型ブロック基礎

柳原194地区急傾斜地崩壊対策工事 (5-3)

図名	コマ型ブロック基礎構造図		
図番	12 第中 8	縮尺	図示
作成	橋本 浩二	校核	橋本 浩二
			R 6 . 1
広島市安佐北区役所 森林建設部 地域整備課			